

堺市

素材研究 (国内)



仁徳天皇陵古墳を含む百舌鳥・古市古墳群は世界文化遺産登録が期待されています(写真提供:堺市)



魅力発信のテーマは千利休と与謝野晶子 文化・観光の拠点施設「さかい利晶の杜」がオープン



今年3月からは新しい観光周遊バス「堺まち旅」の運行も開始されました



堺の歴史や文化を広く紹介する「さかい利晶の杜」は、茶室お点前体験や茶の湯体験なども楽しめる多様な施設で、千利休屋敷跡も隣接しています



JTBグループから出向し堺観光コンベンション協会で活躍する萩野氏

3月20日に着地型観光の拠点施設ともなる「さかい利晶の杜」がオープンするとともに、新しい観光周遊バスの運行も開始された堺市。堺市観光部と公益社団法人堺観光コンベンション協会による様々な施策により、2007年度の600万人台から2013年度には800万人を超えるまでに変わった旅行者のさらなる増加が期待されています。

2人の偉人を通じて体験する「堺」

「さかい利晶の杜」は、同市に所縁の深い千利休と与謝野晶子をテーマとする文化施設や観光案内施設、大型バスの駐車区画も備えています。飲食などのサービス施設も整備され、まちの賑わい創出と地域経済の活性化も担う文化観光拠点です。

堺観光コンベンション協会の萩野哲也プロモーショングループ長は、「『もてなし』と『しづら』の美を極めた茶の湯の大成者である千利休と日本独特の文学、短歌で輝かしい成果を残した与謝野晶子という堺で生まれた2人の偉人を通じて、堺を体験しながら楽しめる」と語り、都市魅力の向上を図る施設誕生の意義を強調しています。同協会が旅行商品の開発と誘客を目標として、民間人主体の専門チームである

プロモーショングループを設置したのは、2007年度のことでした。観光資源の発掘や魅力づくりに取り組み、堺市を訪れる旅行者と市内の事業者を結びつけるワンストップサービス提供を目指す「着地型観光・堺モデル」の推進が、「さかい利晶の杜」に結実したとも言えます。

主要駅と観光エリア結び周遊バス

また、堺市では、「さかい利晶の杜」オープンに合わせて、新しい観光周遊バス「堺まち旅」の運行も開始されました。「さかい利晶の杜」や「堺市博物館(百舌鳥古墳群シアター)」などの観光集客施設や、堺東駅、堺駅(南海線)、宿院駅(阪堺線)、三国ヶ丘駅、百舌鳥駅(JR線)などの主要駅が結ばれ、観光エリア間での移動の利便性が増しています。

人気の観光地である大阪の「なんば」や「天王寺」などのエリアから電車で10分という堺市の立地も踏まえた「堺まち旅」の導入は、大阪からのショートトリップ需要の拡大に貢献することが期待されています。

さらに、2010年11月に世界遺産暫定「一覧表に記載された仁徳天皇陵古墳を含む百舌鳥・古市古墳群は、2017年の世界文化遺産への登録を目標としており、観光地としての堺の求心力も高まりそうです。

同協会の萩野プロモーショングループ長は、「旅行業界の皆さんにも、多様な魅力に注目しご送客いただきたい」と呼びかけています。